

Azalea

号外 半導体事業
構造改革

発行所 パナソニック デバイス労働組合 長岡京支部

発行人 南俊幸 編集人 経営政策

長岡京支部HP <http://www.pidungk.com/> / (最新組合情報をアップしています!)

職場報告⑨

2月26日(水)に長岡京支部として、関西地区と関東地区で「半導体事業の構造改革」に関する臨時支部委員会を開催しました。また、2月27日(木)パナソニックデバイス労組にて「半導体事業の構造改革」に関する第2期第4回代表者会議が開催されましたので、報告させていただきます。2月28日(金)にはセミコンダクター事業部との労使協議会を開催いたしましたので、合わせて報告します。

■長岡京支部 臨時支部委員会

2月26日 17:45～

長岡京支部臨時支部委員会を関西地区・関東地区にて開催し、「半導体事業の事業構造改革」に関する審議を行いました。冒頭、南執行委員長より挨拶がありました。

○南執行委員長挨拶(要旨)

半導体事業の改革に関する度重なる職場会や組合員の相談など献身的な対応を頂いており感謝申し上げます。

また、執行部も長岡京拠点だけでなく、北は福島県いわきから南は鹿児島に至る分散拠点や社内外に出向されている組合員の皆さんへの対応も含めて行なってきており、職場統括や職場委員の皆さんも含め文字通り支部一丸となつて、

短期間で集中して積極的に取り組み、そのベースがあって、SC6支部・デバイス労組本部・関連労組とも連携し、労協や交渉など進めることができています。その様な視点からも重ねて感謝申し上げます。

本日の臨時支部委員会は、昨年12月20日に申し入れを受けて以降、組合の拘る、事業存続による「雇用の確保」という大きな課題に対して一定の合意ができる状況に至ったものと判断する半導体6支部の見解についてご確認を頂くものです。

職場では緊急職懇が行なわれ、組合としても職場会を開催していただく中で、沢山の意見や疑問点など挙げていただきました。その不安に思う意見や質問など疑問を抱くのは当然であると思います。組合としても、その内容を真摯に受け止め、都度会社側に回答を求めるとともに誠意ある対応を求めて参りました。

改革の先にある事業の確からしさや組織運営のあり方など明確ではない中で、大きな不安はあるものの、その認識は我々も同じであります。だからこそ、その視点で今後、事業計画や組織体制などについて明らかにするだけでなく、職場の不安が解消され安心できるものとなるよう、職場意見を軸として皆さんとともに会社を動かし、今回の改革が、半導体事業の継続発展と雇用の安心・生活の安心に繋がるよう取り組んでいきます。

皆さんの高い見地と大きな視点でのご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

○審議事項【1号議案】

「半導体事業の事業構造改革」に関する支部見解について、関西地区・関東地区において、満場一致で確認されました。質問、意見・要望については、長岡京支部HPにアップいたしますので、ご確認ください。



■PIDU第2期第4回代表者会議 2月27日 9:00～

半導体の事業構造改革における、新会社発足
および岡山拠点閉鎖について満場一致で確認

パナソニックデバイス労組第2期第4回代表者会議が開催され、1号議案「半導体事業の構造改革」について、満場一致で

確認されました。

○2号議案半導体事業の構造改革に関する件

1. セミコンダクター事業部の北陸工場とタワージャズ社との合弁会社設立とそれに伴う従業員の転籍について
2. 岡山拠点の閉鎖について
3. セミコンダクター事業部およびPIDDSC社、PIDOSC社の3社による統合会社の設立とそれに伴う従業員の転籍について

○近藤中央執行委員長挨拶(要旨)

半導体事業は、これまでパナソニックの主力商品を市場に供給するためのサプライチェーンに沿って付加価値を供給し続ける、いわゆる垂直統合型のビジネスモデルにおいて、永年に亘り、全社成長に貢献をしてきた。

しかし、デジタル家電を中心とした受注減少や、新規分野への転地の遅れなどから、2008年のリーマンショック以降、非常に厳しい経営環境にさらされており、これまでも組合員の痛みを伴う様々な会社施策にも協力をしてきた。こういった過去を振り返って見れば、今回の構造改革については、労働組合、特に半導体6支部にとって余りにも理不尽なように思える。

このような中、半導体6支部においては、過去ではなく現在の状況を正面から受け止め、咀嚼する中でこれからを見据え、そして未来を決断の基点に置き、会社や職場に対峙していただいたと思う。このことに対して、改めて敬意を表したい。

本件は、組合員の身分変更を伴う案件であり、かつ、今後のデバイス労組の組織再編にもつながる案件である。加えて、岡山地区における拠点閉鎖や今後の人員流動の視点からも、デバイス労組全体の課題とすべき最重要案件の一つであるとの認識から、本代表者会議での確認の後、回答手続きに入ることとした。

また、4月21日(月)に予定されているデバイス労組の中央委員会において正式追認の予定となっていることをご認識いただき、真摯な論議をお願いしたい。

新会社の事業計画や運営、組織体制などを含めて、今回の改革の確からしさについては、まだまだ安心できる状況には至っていないが、各支部での決議においては、パナソニックとしての半導体事業の存続とそれによる雇用確保という大きな視点に立っての理解と判断を組合員の皆さんから頂いた。今後、早急に事業計画や組織体制などを含めた事業の確からしさを明確にするよう、半導体6支部からも求めていくが、是非、本部からも会社へ要請をしていただきたい。また、今後、転籍および再配置の提示やセーフティーネットなどの選択を含めた個人面談が始まるが、決して行過ぎた面談とならないよう、会社側に徹底いただきたい。加えて、今回の改革では、先の新聞報道などにより、職場の混乱や不安の増長を招いたと考える。こういった情報リークについては、今回の事象に限らず大きな問題であるので、PGUを通じてパナソニック全社での対応策を要望していただきたい。最後に、これからセミコンダクター事業部の組合員のA I S社内での再配置が行われていきますが、受け入れをいただく事業場ならびに支部におかれましては、是非とも温かい対応をお願いします。

意見・要望

新会社の事業計画や組織体制などについては、まだまだ不透明な部分が多いのは事実であり、本部としても会社において個人面談が終了するまでに明らかにし、職場にも発信するよう要請しており、会社からは実施する旨、回答を得ています。また、これから新会社への転籍や他事業場への再配置が進んでいきますが、対象となる組合員の皆さんは、自身の将来の会社生活や家庭生活を熟慮され、様々な選択肢の中から判断をされることになります。その結果として、新たな職場へと赴かれる方々は、これまでの環境からは大きな変化が生じることになると思います。受入れていただく支部の皆さんにおかれましては、本部の立場からも温かいご対応をお願いしたいと思います。

■SC事業部一組合 労使協議会 2月28日 9:00～

セミコンダクター事業部労使協議会にて回答書を提出

2月28日（金）セミコンダクター事業部労使協議会を開催し、12月20日に会社から申し入れを受けた、半導体事業の構造改革と2月4日（火）の申し入れ内容を加味し、デバイス労組から回答書を提示するとともに、意見・要望を行いましたので、その内容について報告させていただきます。

○藤本事業部長

今、回答書を頂きました。本当にありがとうございました。ここに至るまでに、時間的なもの、中身につきましても非常に大きな内容であるにも関わらず、会社を良くしていきたい、従業員の皆さんにより良い環境を提供して、夢を何とかもう一度与えたい、共有したいということも皆さんと共有できたのではないかと思います。この回答書には、我々が気をつけなければいけない点も十分網羅されていると思います。



ここに至るまで、これまで数回の経営委員会、あるいは労使協議会の中で皆さんから頂いたいろいろな内容については真摯に対応してきているつもりですが、我々としてはこの後も継続して、しっかりと対応していきたいと思っていますので宜しくお願いします。

○近藤中央執行委員長



昨日、朝から代表者会議で決議をした。合わせて、今後もデバイス労組全体でこの半導体構造改革に、対峙・対応していくことを全体で確認した。基幹会議の中でも複数の意見が出されているのでその事も踏まえて見解を述べてさせて頂く。まず、今回の改革そのものではなく、全体にまつわる課題として、情報管理については、いろいろな情報が先走って出てしまった。正確で

はない情報や、そのことを起点として、職場で誤解が生じたりした。このような感情的な領域に入れば入るほど、どんどんずれが生じてくること、そのずれを補正するのが非常に難しいことを実感した。今後の情報管理強化を強く要請する。

北陸のJ Vの新会社について、今回の改革は過去を振り返って見ると、理不尽な改革だという職場からの意見がほとんどだった。ただ、過去ばかりにとらわれるのではなく、今を見て、先程藤本事業部長が言われた、将来パナソニックとしていかに半導体事業を継続していくかという視点にたつて、半導体6支部においては職場に対峙し、昨日の決議に持ってきてもらった。とりわけ、当該の魚津、砺波、新井、この3支部においては、厳しい職場対峙をする中で、このようなことをしっかりと組合員に伝えながら、何よりも組合員の継続した雇用と、このことに機軸をおいて最終決断をしたということに対して、改めてこの重みについて労使で共有したいと思う。

また、岡山拠点の閉鎖ということについて触れさせていただきまします。今回の構造改革は、先ほど申し上げたように事業を継続していくために取り組んできたが、ただ利益を出すだけでは社会の公器にはなれないことを改めて痛感している。やはり、パナソニックという会社は、利益を出すという事は当然地域に還元していくことだが、地域と共に今まで生きてきたのではなく、生かされてきたということを痛感する事象でもあった。また一つ地域からパナソニックの灯が消えるということになる。この教訓を是非、今後の取り組みに活かしていきたいと思っているので、労使でこの重みを共有しておきたい。

最後に、今後についてお願いしておきたい。半導体事業の全体、事業計画を含めてまだ明らかになっていない中で、本来であれば今回の回答も出すべきではないのではないかとという意見も職場からはあった。この後に2月4日に追加申し入れを頂いている。この回答に向けてさらに論議を深めたいと思っている。是非、しっかりと事業の行く末の明示をお願いしたい。そして、それをしっかりと伝えるプロセスを進めていくことになるが、将来の半導体事業のあり方について、ただ伝えるのではなく、上司・部下の中で、“こうやって、やっていこう”という決意固めの場には是非活用し、労使関係の更なる強化につなげていかなければならない。全体で新たな挑戦をしていくという気概になれるそういう話し合いの場になればと思う。加えて、異動者のフォローについても是非お願いしておきたい。これから多くの異動者が発生してくる。労働組合としても、全体の課題として取り組んでいくということを、昨日決意を固めている。行き先を決めるということも大切だが、その先で継続して、モチベーションを保ちながら生き活きと働く、こういう事は会社としての大きな仕事だと思っている。引き続き労使で対応していきたいと思うので宜しくお願いする。

この後、論議を深めて回答していく予定となっている3社統合会社だが、長岡京支部、DS支部を中心に今後論議を進めていくことになる。合わせてPIDDS C労組、PIDOS C労組とも連携し進めていくが、生い立ちの違う組織の統一、簡単ではないという認識を労使で持ちながら、しっかりと論議を深めて、いい方向に導いていきたいと思っているので、会社の真摯な対応をお願いする。

■今後のスケジュール

3月

10日

SC事業部合同朝会

●Azalea号外

17日

労使協議会

24日

SN募集締め切り

●Azalea号外

4月

1日

JV新会社創設・出向開始

●Azalea号外

17日

支部委員会

●Azalea号外

21日

中央委員会